

死亡事故の発生状況

「死亡(死者)」とは、交通事故によって発生から24時間以内に亡くなった場合(人)をいう。ただし、「30日死者の事故」の項では、「死者」を「24時間死者」という。

72件

【死亡事故の特徴】

75人

○死者数は統計が残っている昭和23年以降、最小

令和元年中の死者数は、前年に比べ17人(-18.5%)減少した。

○高齢死者の割合が増加

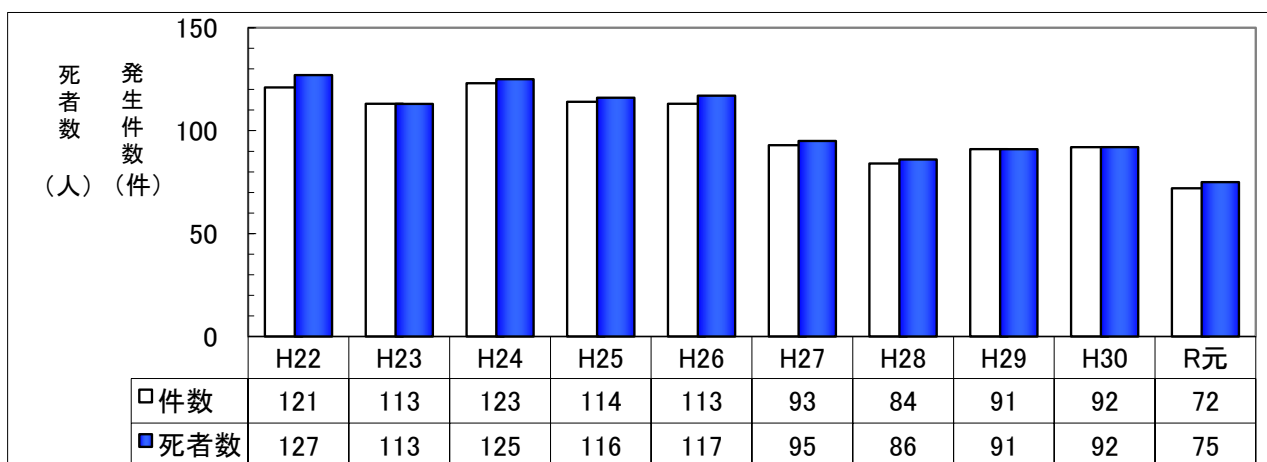
年代別死者数では、高齢者が46人(前年比+8人)で最も多く、全死者の61.3%を占めた。

○高齢運転者による死者数が大幅に減少

高齢運転者による死者数は、20人で前年に比べ15人(-42.9%)減少した。

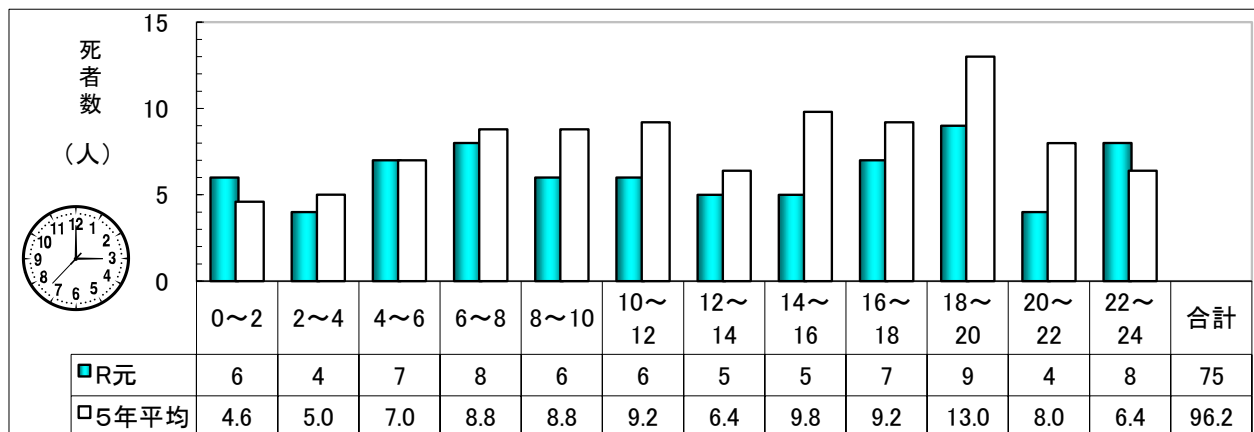


● 過去10年間の推移



● 時間帯別死者数

※「5年平均」とは、平成26年から平成30年の死者数の平均をいう。

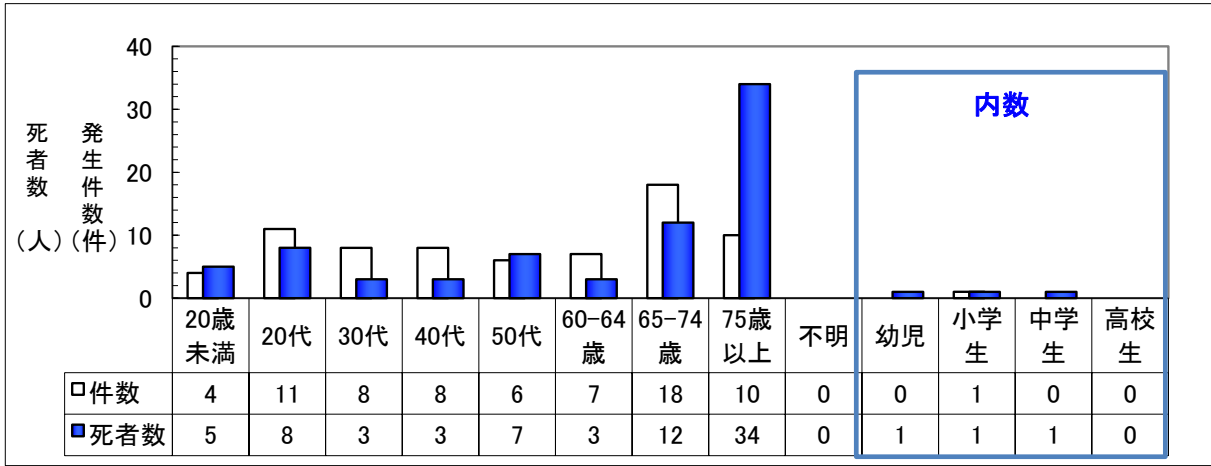


● 道路形状・事故類型別死者数

※「列車」とは、列車が当事者となった踏切上の事故をいう。

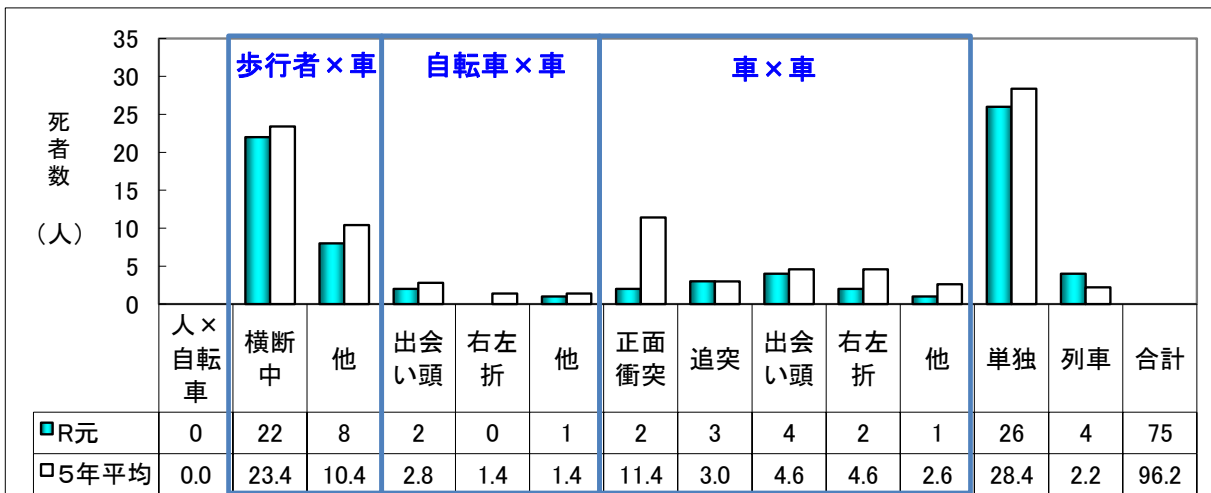
道路形状 事故類型	交差点			単路	踏切	その他	合計
	信号有	信号無	計				
歩行者×車	7	13	20	9	0	1	30
自転車×車	1	2	3	0	0	0	3
車×車	5	5	10	2	0	0	12
車単独	3	5	8	17	0	1	26
列車	0	0	0	0	4	0	4
合計	16	25	41	28	4	2	75

● 年齢層別発生状況

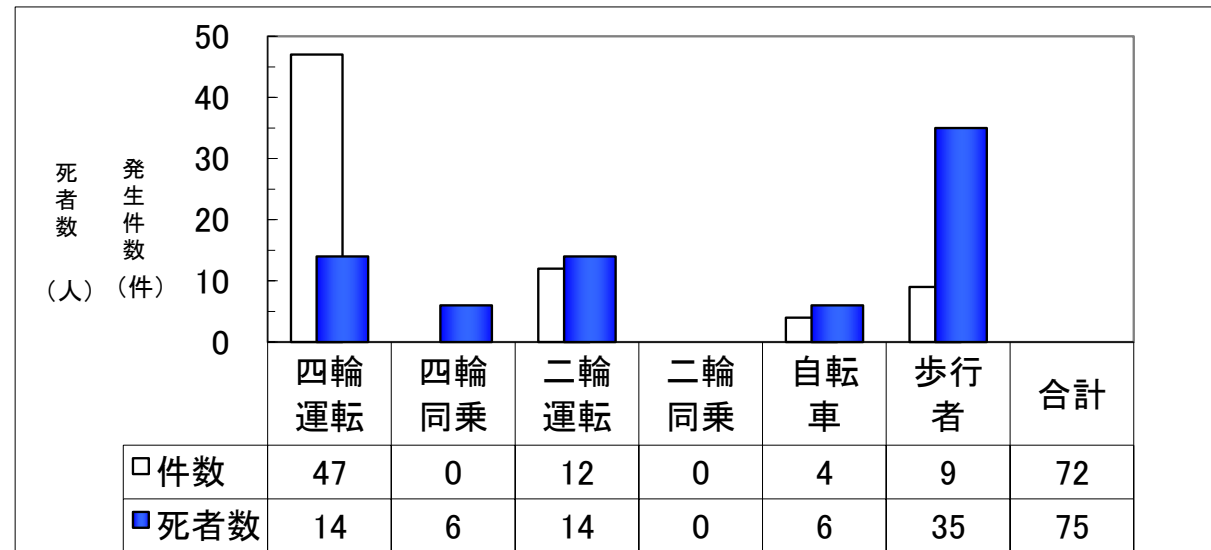


※ 件数は、事故の第1当事者の年齢層で、死者数は死亡した本人の年齢層である。

● 事故類型別死者数



● 状態別発生状況



※ 件数は、事故の第1当事者の状態別で、死者数は死亡した本人の状態である。